

**製品名: FAK (3D8) マウスモノクローナル抗体****カタログ番号: AMM03501**

研究使用のみ

**概要**

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,ICC/IF,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,ICC/IF 1:50-1:200,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 119 kDa; Observed MW: 125 kDa

**抗原情報**

遺伝子名	PTK2 PTK2; FAK; FAK1; Focal adhesion kinase 1; FADK 1; Focal adhesion kinase-related nonkinase;
別名	FRNK; Protein phosphatase 1 regulatory subunit 71; PPP1R71; Protein-tyrosine kinase 2; p125FAK; pp125FAK
遺伝子 ID	5747
SwissProt ID	Q05397
免疫原	標的タンパク質に対応する合成ペプチド

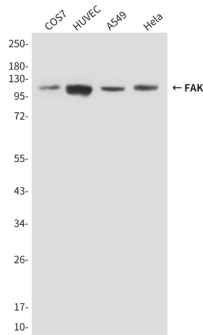
**背景**

この遺伝子は細胞質タンパク質チロシンキナーゼをコードしており、細胞外マトリックス成分の存在下で増殖する細胞間に形成される接着斑に集中して存在します。コードされているタンパク質はタンパク質チロシンキナーゼの FAK サブファミリーに属しますが、他のサブファミリーのキナーゼとは顕著な配列相同性がありません。この遺伝子の活性化は、特定の神経ペプチドまたは細胞と細胞外マトリックスとの相互作用に反応して誘導される細胞増殖および細胞内シグナル伝達経路において重要な初期段階である可能性があります。

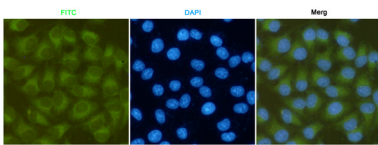
## 研究分野

心血管系

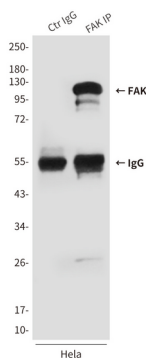
## 画像データ



FAK 抗体を使用した COS7、HUVEC、A549 および HeLa 溶解物中の FAK のウェスタンブロット分析。



FAK 抗体を用いた HeLa 中の FAK (3D8) の免疫蛍光分析。



FAK 抗体を使用した HeLa 溶解物中の FAK (3D8) の免疫沈降分析。